

伊達な旅ガイド

Vol.374

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

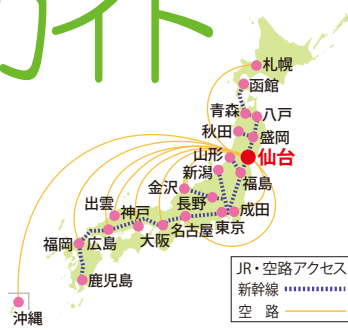
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
18:24~18:30
BS-TBSにて大好評放送中



仙台・宮城
観光PRキャラクター
むすび丸



JR・空路アクセス
新幹線
空路



JR東北新幹線一ノ関駅からJR大船渡線に乗り換えて気仙沼駅下車／三陸自動車道 気仙沼中央ICから

2019年
12月16日
放送

気仙沼の記憶を巡る旅

東日本大震災で、甚大な被害を受けた気仙沼。震災の記憶を伝える施設をご紹介します。

気仙沼市の岩井崎にある津波の被害を受けながらも奇跡的に残った松。「龍の松」と名付けられています。



震災の記憶に触れる

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

Tel.0226-28-9671



予約をすると、語り部に案内してもらいながら、震災当時の話を聞くことができます。始めに映像シアターで震災時の映像を見てから、旧校舎を見て回ります。



「ここは3階で、床上の高さは8メートルです。天井まで全部取られてしまうくらいの波が来て、車が飛び込んでいます。駐車場にあった車が3階まで流されてきたんですね」(近藤さん)

館長 佐藤 克美さん

「この特徴は、2011年3月11日のありのままの姿という事です。津波の引いた後、同洋高校の校舎がどうなったかということ、当時のまま残っています」



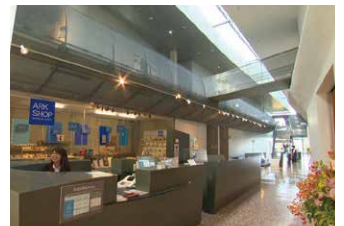
語り部 近藤 公人さん

「だいたい発生から40分後ぐらいに津波が到達しました。子どもたち170人と指導の先生方は、近くの地福寺まで、すぐ避難しました」



気仙沼リアス・アーク美術館

Tel.0226-24-1611



「自宅があったはずの場所に行ってみると、自宅うんぬんの前に地区がないんですね。これを見た瞬間の絶望感といいますか」(山内さん)

2011年3月13日の写真



収集された被災物



展示されている日常の品々からは、被災する直前の人々の生活が伝わってきます。

副館長 山内 宏泰さん

「我々が現場に行って実際にその場に足を踏み入れて取材をしました。誇張でもなんでもなく、文字通り命がけで、やっていたことです」

